

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I-2	地域とのつながりが行事化しているが、日々の生活の中での地域交流が不足している。	少なくとも、月に1度はボランティアなどを通じて交流を促していく。	富里市ボランティアポイント制度受入れ機関の活用を通して利用者と地域住民との関係性を深めていく。	6ヶ月
2	I-3	参加メンバーが固定化しており、課題における問題提起に関して多様性に富んだ意見に欠如している。	地域の実情と事業所に入所している利用者との交流を活性化させる。多様性に富んだ意見交流が実現し、課題に対して視点を変えた取り組みが可能となる。	地域包括支援センターの職員や、ボランティアサークルの顧問に参加依頼する。現状の地域住民との認知症にたいする共有の視点が育まれることが期待される。	6ヶ月
3	I-4	市町村との連携はしているが、新しい取り組みが出来ていない。	市町村との連携をすることによって、現状の事業所の課題を理解してもらい、サービスの取り組みを伝えながら協力関係を築くように取り組む。	地域ケア会議への参加によって、事業所の利用者及び利用希望者の声を届ける。	6ヶ月
4	I-5	身体拘束のマニュアル作成あり、内部研修はできているが、外部研修の場を設けていないので、自分たちの錯誤に気づきにくい環境にある。	定期的な外部研修の実施。	県や市町村での研修に積極的に参加する。経験の浅い職員が優先的に参加できるよう調整をする。	6ヶ月
5	I-10	月に1度の家族への近況報告はできているが、家族からの要望が聞ける環境が整っていない。	職員、家族との意見交換の場を設ける。それによって、利用者にとってよりよい生活を送ることが期待できる。	定期的な家族会の開催。家族がいない利用者に対しては、地域交流の場を設け取り組むように努める。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。